

# 決算説明会資料

## 2022年9月期 第3四半期

---

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）  
2022年8月10日

## 目次

- 1 2022年9月期 3Q業績概要**
- 2 各事業の状況
- 3 2022年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて

# 1 2022年9月期 3Qサマリー

売上高

**681** 百万円  
(前四半期：675百万円)

営業利益

**2** 百万円  
(前四半期：6百万円)

当期純利益

**▲9** 百万円  
(前四半期：8百万円)

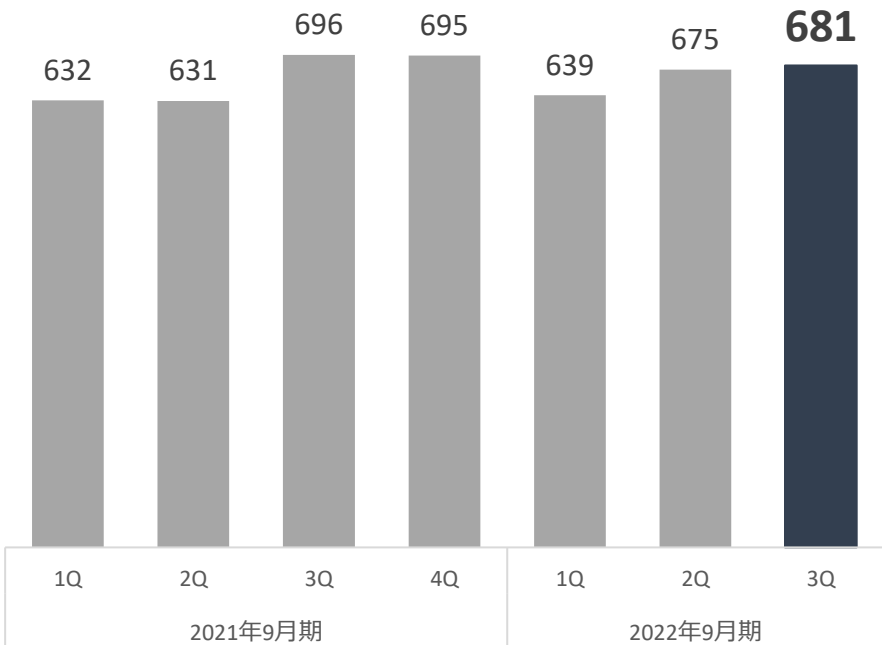
## □ 事業概況

- ・ 2022年9月期3Qは営業黒字計上も、暗号資産評価損により当期純損益は赤字
- ・ 広告事業においては、当社債権管理の健全化を図るため  
既存取引先の構成比率の見直しを行いつつも、事業全体では堅調に推移しており、  
事業拡大のための体制強化を継続
- ・ ブロックチェーン関連事業においては、協業先(IPホルダー、パートナー)とともに、  
トレサカ Jリーグなどの企画開発を進行中

# 1 業績の四半期推移

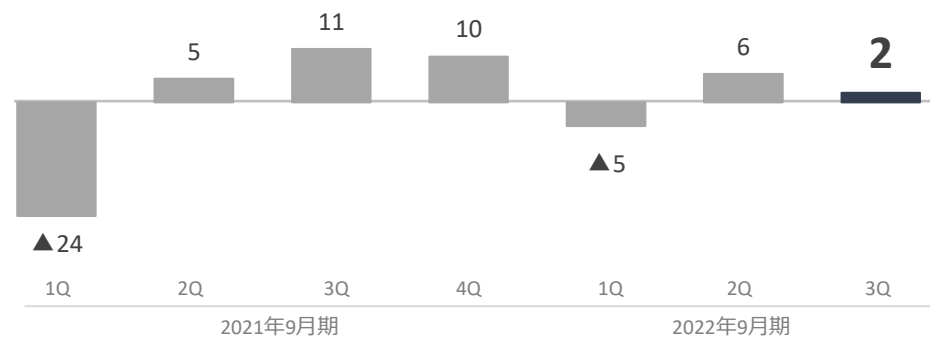
主力事業である広告事業が堅調に推移し、QonQにおいて増収

## 売上高

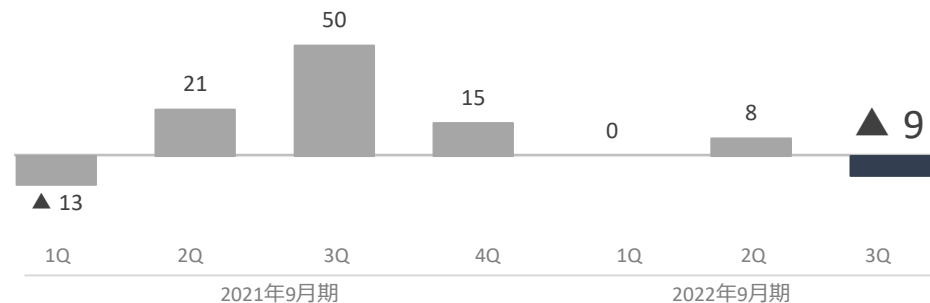


## 営業利益

単位：百万円

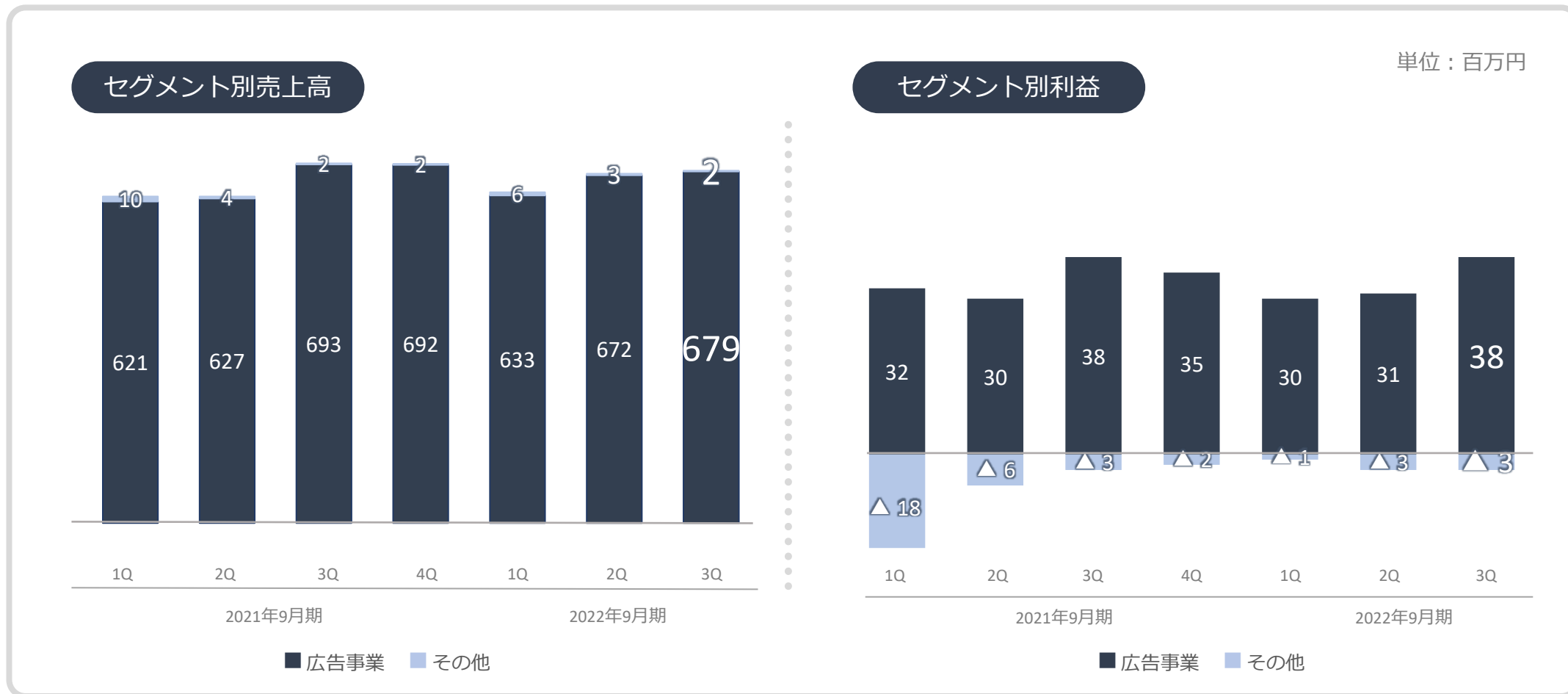


## 当期純利益



# 1 セグメント別の四半期推移

広告事業は、事業拡大のための投資を進めるも一定の収益を確保



# 1 損益計算書四半期推移

広告事業の事業拡大へ向けた投資等を継続するも、引き続き営業黒字計上  
2022年3Q期間中の暗号資産価格の大幅な下落にともない、当期純損益は赤字

単位：百万円

	前期		当期		当期 3Q	QonQ 差異
	4Q	1Q	2Q			
<b>売上高</b>	695	639	675		<b>681</b>	+6
売上原価	617	566	596		600	+4
<b>売上総利益</b>	78	72	79		<b>81</b>	+2
販売費及び一般管理費	68	78	72		78	+6
<b>営業利益</b>	10	▲5	6		<b>2</b>	▲4
営業外収益	11	7	1		0	▲1
営業外費用	1	0	0		14	+14
<b>経常利益</b>	20	1	8		<b>▲10</b>	▲18
特別利益	-	-	0		1	+1
特別損失	-	-	-		-	-
<b>税引前当期純利益</b>	20	1	8		<b>▲9</b>	▲17
法人税等	4	1	▲0		0	+0
<b>当期純利益</b>	15	0	8		<b>▲9</b>	▲17

# 1 貸借対照表概要

## 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換が進み 自己資本比率が上昇し、財務の健全性向上

単位：百万円

	2021年 9月期 4Q末	2022年 9月期 3Q末
<b>流動資産</b>	1,520	<b>1,510</b>
現金及び預金	1,138	1,057
売掛金	326	298
その他	55	145
<b>固定資産</b>	190	<b>218</b>
有形固定資産	17	14
無形固定資産	2	1
投資その他の資産	171	202
<b>資産合計</b>	1,711	<b>1,719</b>
<b>自己資本比率</b>	40.1%	<b>54.7%</b>

	2021年 9月期 4Q末	2022年 9月期 3Q末
<b>流動負債</b>	306	<b>281</b>
買掛金	245	233
その他	60	48
<b>固定負債</b>	713	<b>490</b>
転換社債型新株予約権付社債	713	490
<b>負債合計</b>	1,019	<b>772</b>
資本金等	885	913
利益剰余金	▲194	▲0
新株予約権	5	5
その他	▲4	27
<b>純資産等合計</b>	691	<b>946</b>
<b>負債・純資産等合計</b>	1,711	<b>1,719</b>

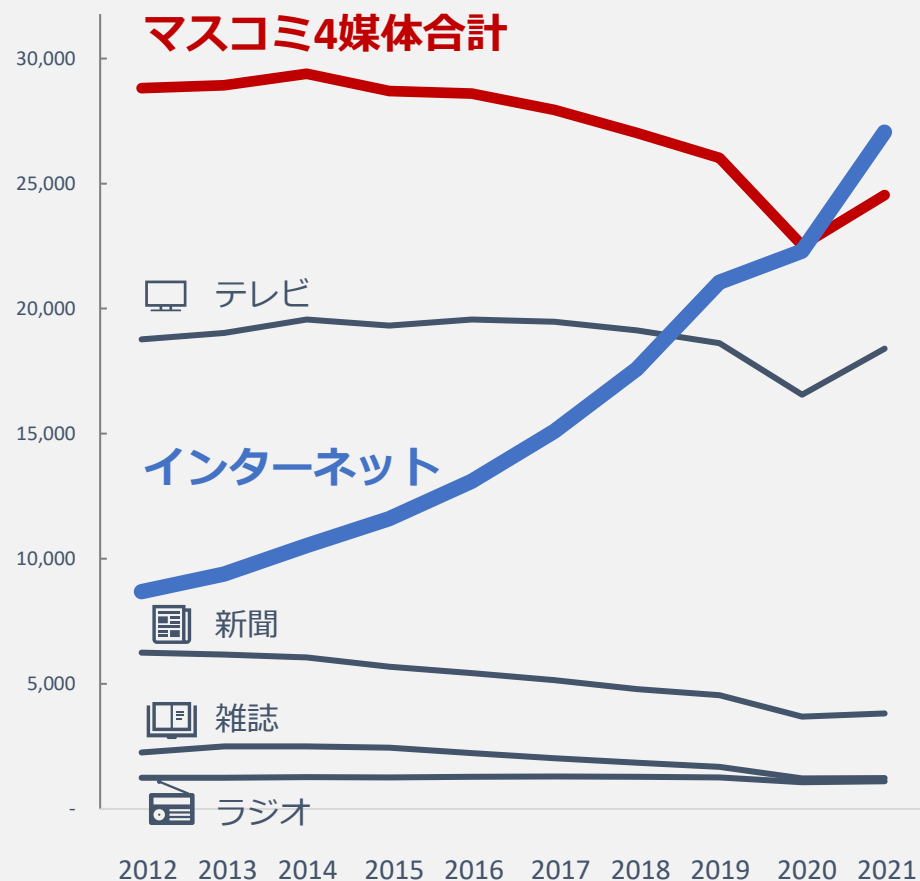
## 目次

- 1 2022年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況**
- 3 2022年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて



## 2 広告事業 市場状況（インターネット広告市場規模）

媒体別広告費の推移 (単位:億円)



 インターネット広告 **2兆7,052億円**

 マスコミ4媒体合計 **2兆4,538億円**

※4媒体: テレビ、新聞、雑誌、ラジオ

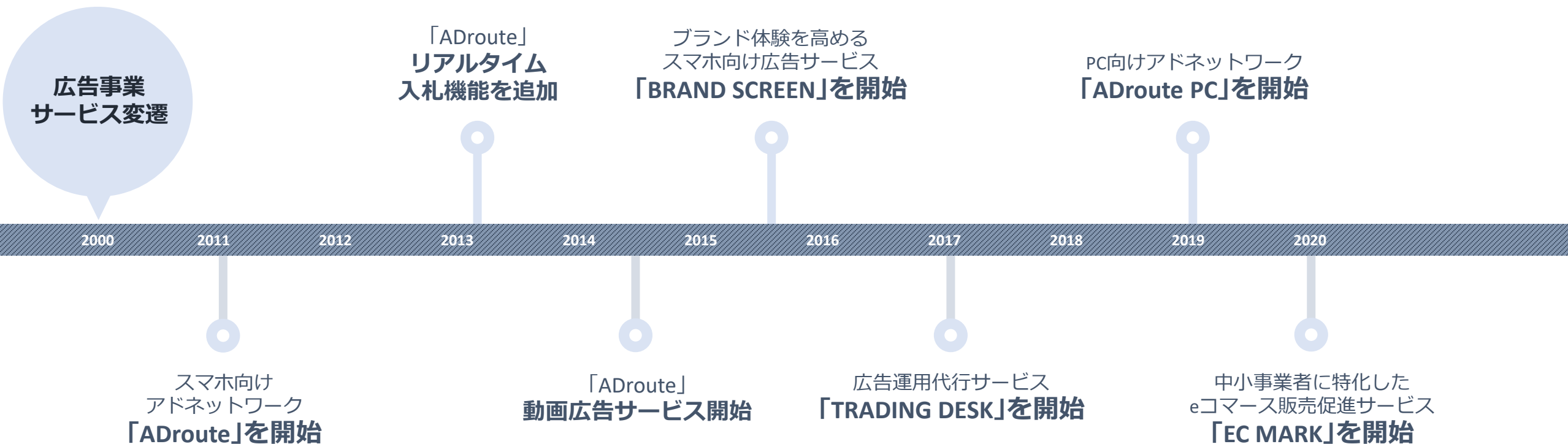
インターネット広告市場は、デジタルトランスフォーメーション(DX)が一気に加速したこともあり、2021年は前年比121.4%となる**2兆7,052億円**と順調に**拡大**。

**マスコミ4媒体を初めて上回った。**

※電通「日本の広告費」より当社グラフ作成

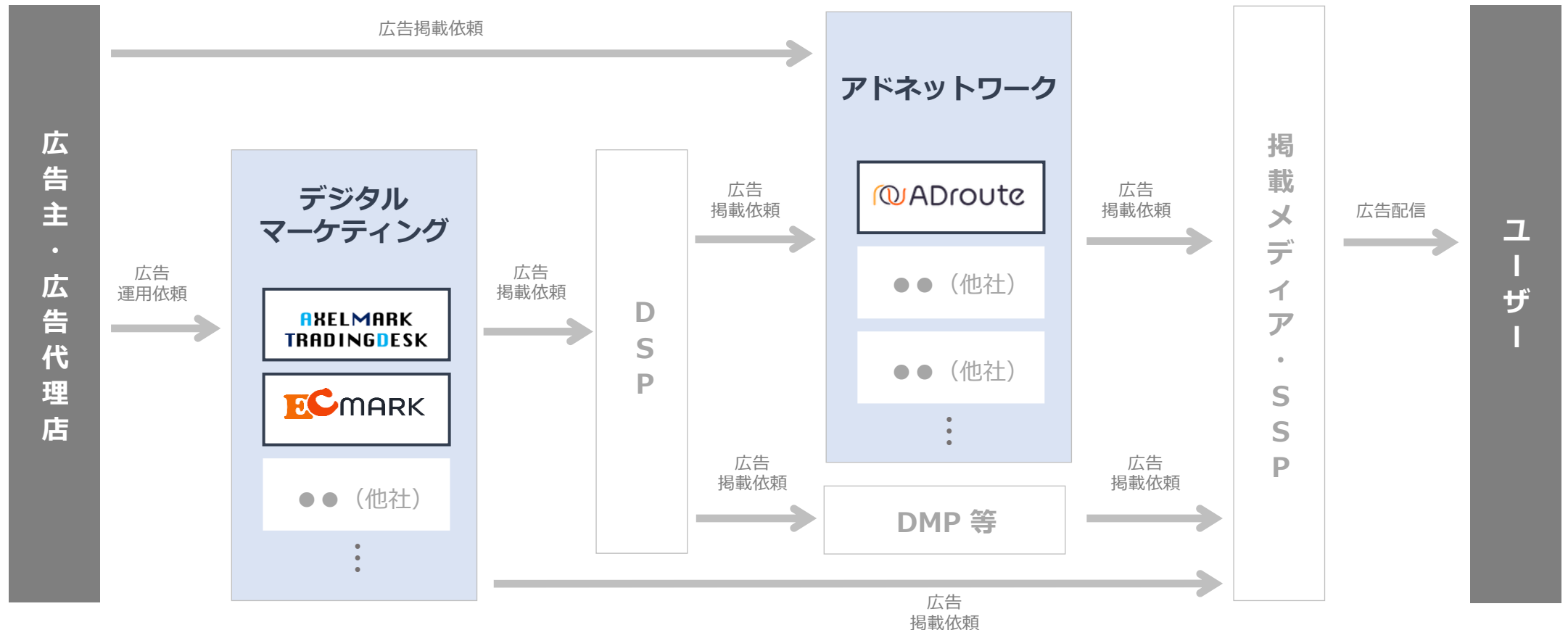
## 2 広告事業 沿革

当社は、2000年代初頭からインターネット広告領域に参入、  
2011年より、現在の主力サービスであるスマホ向け広告サービスを開始  
長年にわたり、インターネット広告市場において事業推進を行っている



## 2 広告事業 ビジネスモデル

アドネットワークサービスの「ADroute」と、デジタルマーケティング領域で「トレーディングデスク」、「ECMARK」を展開



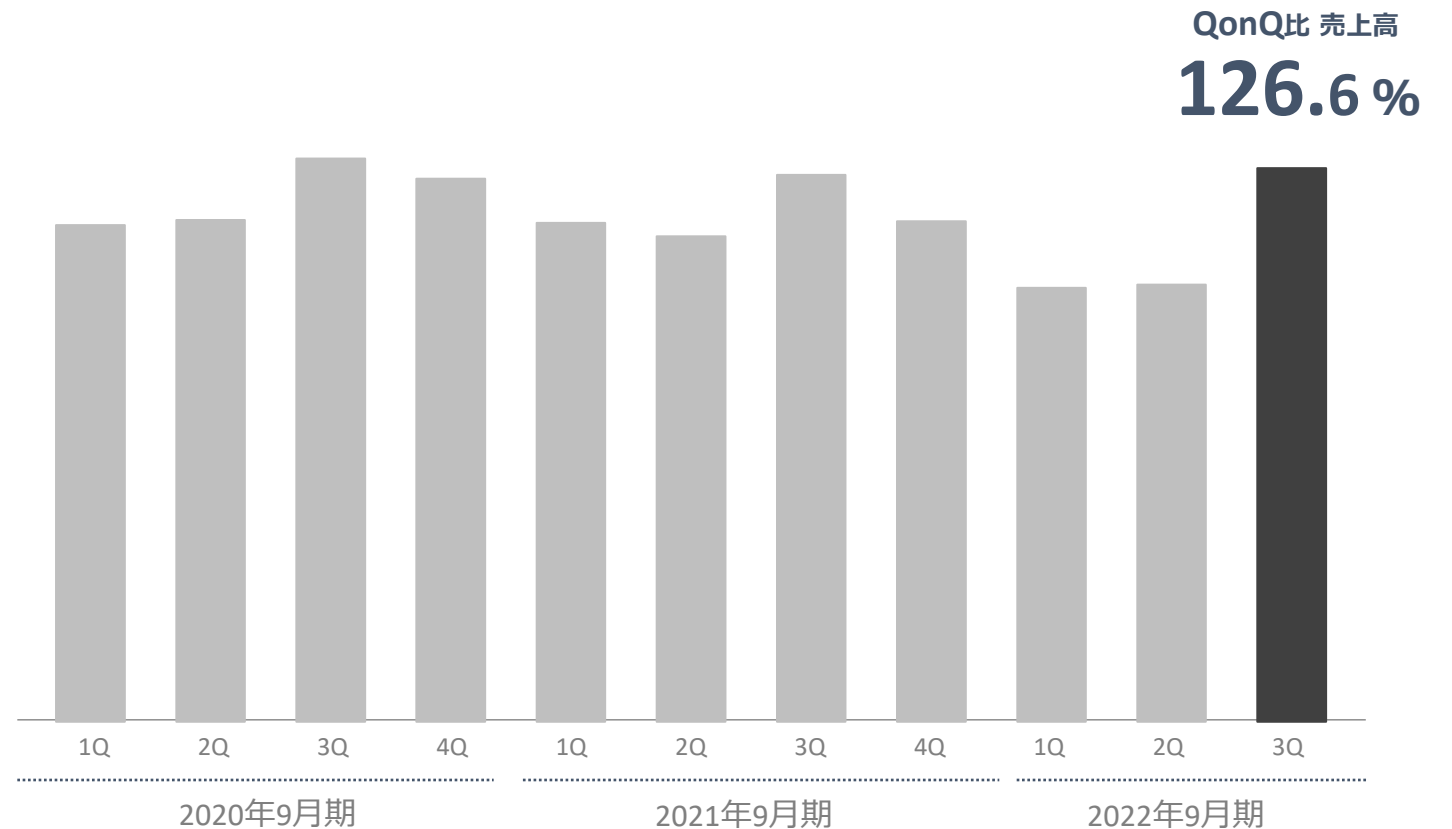
※DSP・・・Demand-Side Platformの略称で、広告主・広告代理店のプラットフォーム  
 ※SSP・・・Supply Side Platformの略称で、メディアのプラットフォーム

## 2 「アドネットワーク」 サービス状況

前期黒字化のために抑制していたシステム開発投資を今期再開し、効果改善に努め、得意とする電子書籍領域のサービス拡大もありQonQ比で増収

アドネットワーク

- **ADroute**
- 良質な広告をお届けする  
月間200億impを超える  
アドネットワークサービス

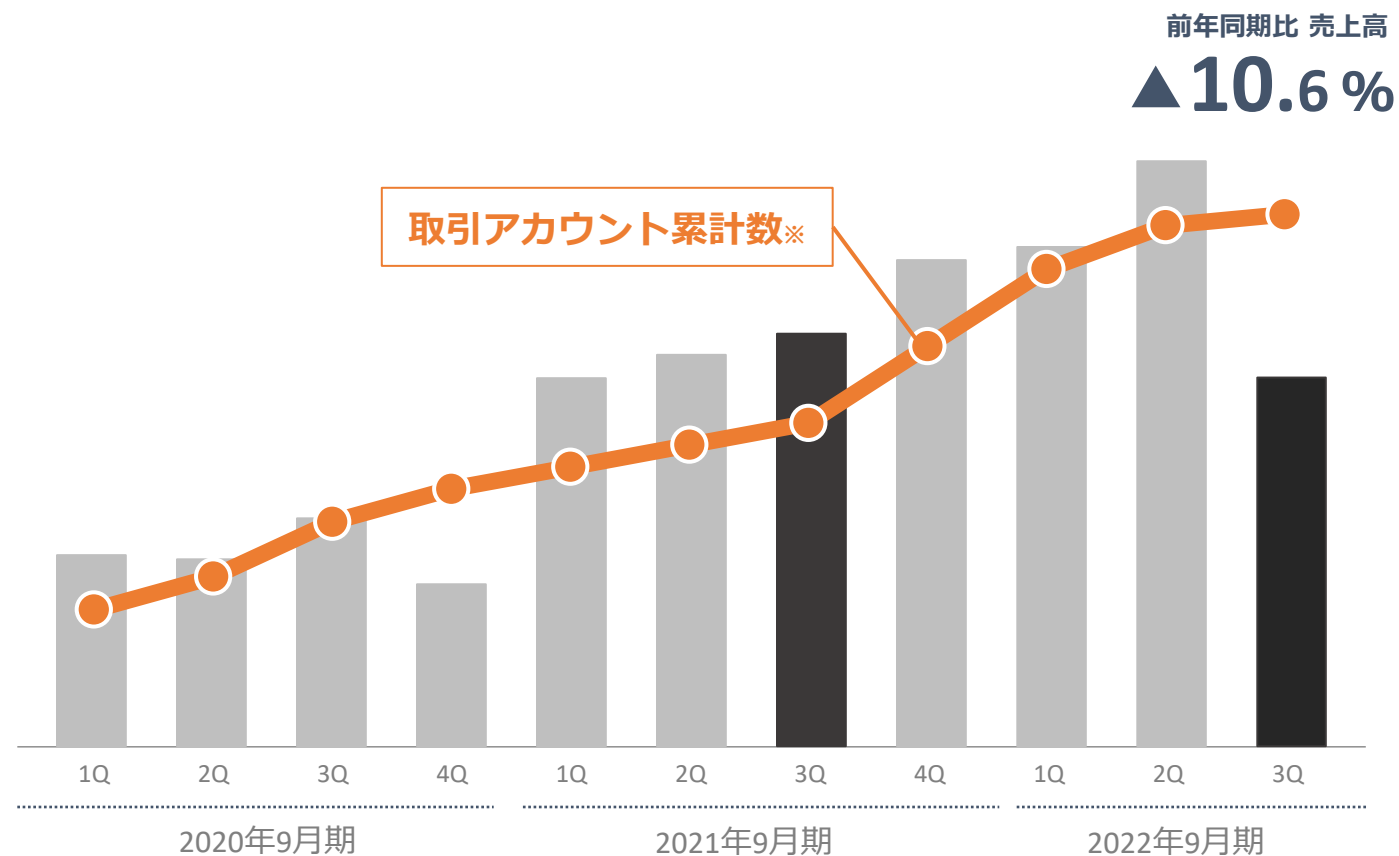


## 2 「デジタルマーケティング」領域 サービス状況

当社債権管理の健全化を図るため既存取引先の構成比率の見直しを実施した結果、売上高は一時的に下落

デジタルマーケティング領域

- TRADING DESK  
広告運用代行
- EC MARK  
サービス中小事業者に特化した  
eコマース販売促進サービス

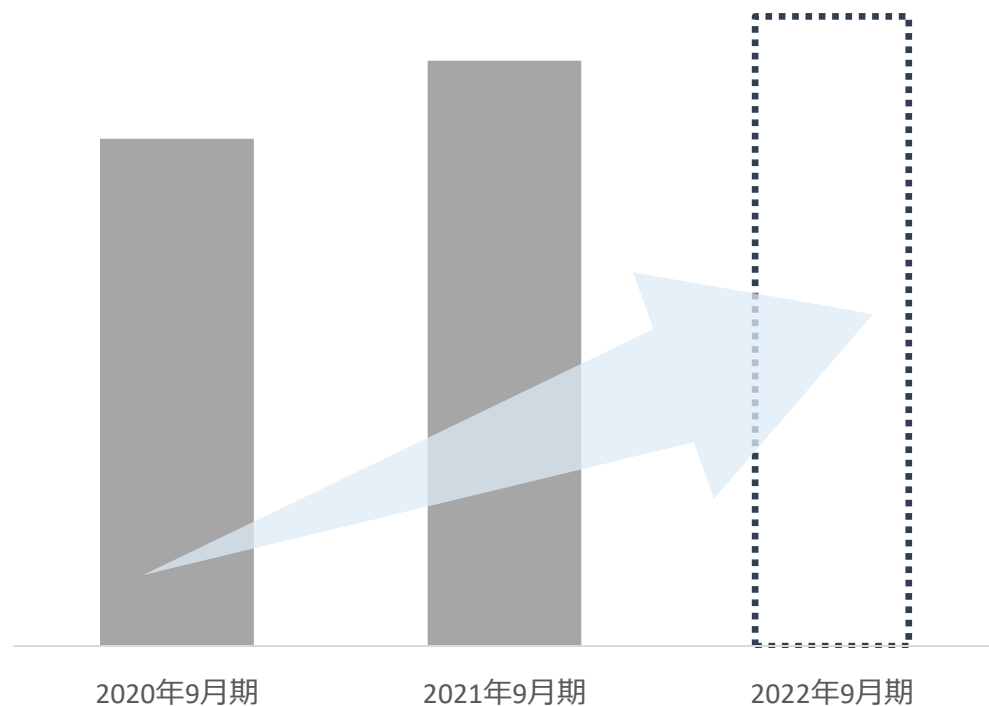


※2019年10月を0として2019年10月以降の新規取引先の累計

## 2 今後の広告事業の展開について

主力事業として、積極的な投資開発を実施し、継続して更なる事業の拡大を目指す

### 広告事業 セグメント売上高



### 今後予定している主な施策

- エンジニア、営業・企画人員の積極的な人員拡充
- 新規プロダクト、ソリューションの開発
- M&Aの検討

## 2 「Jリーグ トレーディングサッカー」(略称：トレサカ Jリーグ)



### フォーカスグループテストを実施中

順次、一般ユーザーを対象としたクローズドβテストを実施  
※テストおよびNFT市場の動向を踏まえ、リリースタイミングを決定



### 国内初NFTを活用したJリーグオフィシャルライセンスゲーム

サッカーファンから初心者まで楽しめる本格的なサッカーゲーム  
Free to Play and Earnのブロックチェーンゲームとして提供予定

日本初のFree to Play and Earnを広く浸透させるため  
ゲームバランス調整およびブラッシュアップを推進中

※画像は開発中画面であり、実際の仕様とは異なる場合があります

※本ゲームは株式会社OneSportsが公益社団法人日本プロサッカーリーグより商品化ライセンス許諾を受け商品企画しております

## 目次

- 1 2022年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2022年9月期 業績予想**
- 4 今後の方針 & 見通しについて



### 3 2022年9月期 業績予想の進捗

単位：百万円

	2021年9月期 通期 実績	2022年9月期 3Q累計 実績	2022年9月期 通期 予想	
			上限	下限
売上高	2,655	1,997	3,034	2,584
営業利益	2	3	10	▲80
経常利益	41	▲1	16	▲74
当期純利益	74	▲0	13	▲75

※BC関連事業において、サービス開始時期が確定していないため保守的に算出、サービス開始時点において業績の詳しい見通しが出た場合には開示をしております。

## 目次

- 1 2022年9月期 2Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2022年9月期 業績予想
- 4 今後の方針&見通しについて**

# 全社 「既存事業の収益拡大」と「新規事業の成長基盤構築」

## 既存事業

### ● 広告事業

マーケティング領域の  
プロダクト、ソリューション等の  
サービスの拡張、事業拡大のため、  
積極的な人員拡充  
投資開発の実行、  
他社とのアライアンス展開を検討

## 新規事業

### ● BC関連事業

トレサカ Jリーグのリリース、サービス成長

### ● IoTヘルスケア事業

Ascella社との取り組みに注力

### ● その他

ブロックチェーン/NFTを活用した  
プロジェクトへの出資、  
他社とのアライアンス展開等も検討

## 4 今後の見通しについて

広告事業による安定的な収益を向上させ  
今後の市場拡大にともなう成長を見込める  
ブロックチェーン関連事業およびIoTヘルスケア事業を推進していく



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>